

# シニアの住まい相談室<sup>⑧</sup>

## 質問1

今のところは元気に自宅で暮らしていますが、いずれは高齢者住宅に住み替えることを視野に入れていますが、いつ、どのタイミングで検討し始めればよいのでしょうか？ (大阪府・Y子さん)

## 回答1

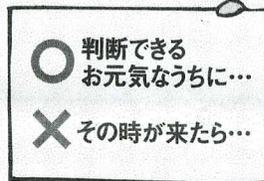
現在の住居形態や家族・身体・認知状況などによって、住み替え時期は異なります。自立を前提にホーム入居を考えた場合、ご自身の財産や身辺整理が必要です。またホーム探しには気力・体力・判断力が要りますので、65歳前後がいいのではないのでしょうか。早めに入ってホームの設備やサービスを利用して体力や意欲の維持向上に努め、栄養管理の行き届いた食事を取り、新しい出会いや交流で刺激のある生活を保つことで、生き生きとしたシニアライフが送れるのではないかと思います。

### (回答者) 長嶺 堅二郎氏

(ながみね・けんじろう) 高齢者サポートネットワーク「CSねっと企画」代表。高齢者住宅関連のコンサルティングやスタッフ研修などを手がけるライフサポートアドバイザー。福祉サービス第三者評価調査者の資格を持つ。

介護が前提の場合、ご自分では判断しきれなくなり、家族や縁戚、身元引受人が決めることになります。人手の問題や見守り、転倒、家族共倒れリスクなどを考えると、出来るだけ早めに入居して住環境の整ったところでプロの介護を受けたほうが、本人も家族も安心して生活が送れるのではないのでしょうか。

高齢者住宅への住み替えのタイミングにおいて最も重要なこと、それは「ご自身で判断できるお元気なうちに、納得できる住まいを選ぶ」、これに尽きます。「その時が来たたら……」と先送りにせず、一歩踏み出す勇気を持ってください。



シニア層の住まいや介護、資金、健康などに関する様々なお悩みや疑問に答える連載「シニアの住まい相談室」の8回目。今回は「高齢者住宅への住み替えのタイミング」と、「『介護付き』と『住宅型』の有料老人ホームの違いとは？」の2つのご質問です。

回答者は高齢者住宅関連のライフサポートアドバイザー、長嶺堅二郎さん

**質問2** 有料老人ホームには『介護付き』と『住宅型』の2種類があるそうですが、具体的にはどのような違いがあるのですか？ (奈良県・Hさん)

**回答2** 「介護付き」と「住宅型」の有料老人ホームは低額から高額まで様々なタイプがありますが、その違いは介護が必要になった時、どんな体制でどんな介護が受けられるかということです。

まず「介護付き」は3タイプに分かれ入居時に、「自立のみ」「要支援・要介護のみ」「自立・要支援・要介護、いずれもOK」というホームになります。自立の間はホーム内の規定はありますが、自由に生活できます。介護が必要になったら、介護居室に移って、特定施設入居者生活介護の介護保険を利用して、365日24時間体制で施設内の介護・看護スタッフによる介護を受けます。

一方「住宅型」は介護が必要になったら介護保険(介護度に応じて1割負担)を利用して居室内で介護を受けます。施設は居宅介護支援事業所

と訪問介護事業所が連携をとり、その方の状況に応じてケアプランをたて、必要な時間帯にスタッフが介護に行くという形になります。

必要なサービスの優先順位や内容を考慮して、ご自身の身体状況や暮らし方を大事にし、予算に最も合ったホームを選ぶことが大切です。

有料老人  
ホーム

介護付き

介護になったら  
ホーム内スタッフが  
24時間ケア

住宅型

介護になったら  
外部の介護  
サービスでケア

